

ちかごろあなたの翳
もう見掛けないので、たぶん壊れてしまったのだろう
そしてかぜが
「もう、おやすみ。」と気遣う

視界をおよぐさかな
かぜに飲み込まれて、焦点がずれた
きつと僕は
ひどく安らかに

おやすみ
ああ、かぜだ
そうやってふいに綴じられる

あさはしんだ
まだ居座っていたかぜ、居心地わるそうに
だって場違いなこと
まちがいなくわかっているから